

2021年1月6日
三菱商事パッケージング株式会社

2021年 社長年頭挨拶(2021年1月4日)

新年明けましておめでとうございます。

皆さんとこうしてまた、2021年(令和3年)のお正月を厳かに且つ健やかに迎えることができたことは、私にとっても大きな喜びです。今回は6日間のお休みでしたが、皆さん十分に休養され、リフレッシュされたことかと思えます。一方で、リテイルビジネスに携わる一部の方々には、休日中の出社や、得意先からの連絡に対応して頂いたと了解しています。

例年のことではありますが大変ご苦労様でした。有り難うございました。

さて、2021年がスタートしますが、この一年が皆さんにとって、またわが社にとって充実した良い一年となることをまずは祈念致します。



昨年2020年を振り返りますと、世界情勢としては米中貿易摩擦が継続され、英国のEU離脱が実行されました。また、6月には香港民主化運動に対し、香港国家安全維持法が施行される事態となりました。11月には米国大統領選挙とその後の混乱など、引き続き地政学的なリスクは高い状況になっています。

特に昨年は、新型コロナウイルスにより、我々の生活様式が大きく変革された年でありました。3月にはWHOによりパンデミックが表明され、4月には日本でも緊急事態宣言が発令される事態となりました。その後も世界各地で第二波、第三波が押し寄せており、この先の状況も不透明となっています。

わが社としては、緊急事態宣言下においてもコンビニエンスストア・食品スーパーなどの小売業への対応、中食・外食や食品を中心とする消費財など、消費者が必要とする生活必需品のサプライチェーンにおいて、パッケージング商社としての社会的使命を担っています。わが社の各社員が各担当分野において使命感を持ってきちんと対応を行い、その役割を果たしたことを社長として誇りに思うと共に、改めて社員の皆さんに深く感謝したいと思います。

新型コロナウイルスに対する経済と感染防止対策を両立させる為の対応として、昨年はテレワークの整備を進めており、管理本部・情報システム部を中心にIT関連施策やフレックスタイム制導入などの推進を行っています。本年も引き続き各種施策を導入していきます。

環境問題については、7月にはレジ袋有料化が予定通り施行されました。一方で、新型コロナウイルスの影響から個包装、賞味期限延長、外食の持ち帰り需要がより高まっています。今後、ワクチンの導入などによりある程度落ち着きが出てくる事も期待されますが、その後でも、当面はコロナ以前と同じ状況に戻ることなく、with コロナの元での新しい日常生活になっていくと思われまます。環境問題の在り方も、コロナ前とは違ったものになってくると考えています。パッケージング専門会社として、消費者に向けて新しい環境問題に対する付加価値の提供を進めていきたいと考えています。昨年4月に発足しました環境サステナブル戦略室を中心に施策を進めていきます。

次に、わが社組織に関連し、昨年9月にLOC(ロジスティクス オペレーションセンター)が門前仲町から日本橋の本店オフィスへ移転し、10月1日付にて流通事業部に統合し、流通事業部物流部になりました。また、包装事業部包装製品部門と事業開発本部が統合されて、コンシューマープロダクツ事業部が新設されました。

2021年度開始する新中期経営計画の一部前倒しで機能強化を推進しています。

新中期経営計画については、昨年8月末に取締役会で新中経「トランスフォーム 2022」が決議・承認されました。新中経においてメインテーマとしているのは「消費者起点への転換」であり、これに向けてまずは全社員の意識も含めて大きく変えることで、その上で、「わが社が持つべき競争優位性」を獲得し、「わが社が目指す姿」を実現することにあります。その為にも、わが社のトランスフォーム、変身が必須であり、2021年度から2022年度の2年間でトランスフォームを成し遂げることを目指しています。

わが社が目指す姿の実現に向けた具体的施策として、「コアコンピタンス強化」、「第二の柱構築」、「外部環境変化への対応」、「社員のモチベーションアップと成長促進」の4つを掲げ、アクションプランに落とし込みながら、2021年度以降の定量目標についても現在策定を行っています。新中経でのトランスフォームを成功させる為には全役職員の意識改革と、一人一人が当事者意識を持ち「消費者起点」を自分自身のものにすることが大切です。全員一丸となってこの難局を乗り切っていきましょう。

今年の干支は、「辛丑(かのと・うし)」で、「幕引きと、新しい命の息吹」を表します。わが社としても、全役職員が当事者として一体感を持ち、過去に囚われない柔軟な対応で、新しい息吹を育てていく年にしていきたいと願っています。

結びに、毎年お願いしている通り、今年も法令遵守、コンプライアンスを最優先で進めて頂きたいと思ひます。

わが社の財産は社員であります。新型コロナウイルスの先行きは不透明ですが、まずは皆さんの心身の健康を第一優先でお願い申し上げます。このような環境下ではありますが、皆さんとわが社にとって、大切な1年となるよう、一緒に力を合わせて頑張っていきたいと思います。

以上